

製剤別 標準製剤との比較データ

2025年4月

	後発品	標準製剤												
販売元会社名	岩城製薬株式会社													
商品名	ベタメタゾン吉草酸エステルローション0.12% 「イワキ」													
薬価	8.50円／mL	16.90円／mL												
成分・規格	1mL中 日局 ベタメタゾン吉草酸エステル 1.2mg (0.12%)													
薬効分類名	副腎皮質ホルモン外用剤													
効能・効果	湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）、乾癬、皮膚そう痒症、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創、進行性壊疽性鼻炎													
用法・用量	通常1日1～数回適量を塗布する。なお、症状により適宜増減する。													
添加物	流動パラフィン、セタノール、サラシミツロウ、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ポリオキシエチレンセチルエーテル、セトマクロゴール1000、ポリオキシエチレンステアリルエーテル、プロピレングリコール、エデト酸ナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチル、pH調節剤、その他1成分	流動パラフィン、セタノール、オレイルアルコール、グリセリン、イソプロパノール、ステアリン酸ポリオキシシル40、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60、モノステアリン酸グリセリン、水酸化ナトリウム、クエン酸水和物、パラオキシ安息香酸メチル												
製品の外観	乳白色のローション剤で、においはほとんどない。	白色のローション剤である。												
製剤特性	(1)ベタメタゾン吉草酸エステルの局所抗炎症効果はStrongである。 (アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024) (2)刺激感をもたらす低級アルコールを含まない乳剤性(O/W)ローション剤である。 毛髪部等に適する。 ※ 診療報酬上の後発医薬品に該当し、一般名処方加算1,2、後発医薬品の各種体制加算に該当します。													
標準製剤との同等性	ベタメタゾン吉草酸エステルローション0.12%「イワキ」の塩化ピクリル接触皮膚炎に対する作用(マウス n=10) <table><thead><tr><th></th><th>薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率 (%)</th><th>接触性皮膚炎抑制率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>薬剤無塗布群</td><td>152.7 ± 8.0</td><td>—</td></tr><tr><td>試験製剤</td><td>25.7 ± 2.3</td><td>83.2</td></tr><tr><td>標準製剤</td><td>26.3 ± 2.1</td><td>82.8</td></tr></tbody></table>			薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率 (%)	接触性皮膚炎抑制率 (%)	薬剤無塗布群	152.7 ± 8.0	—	試験製剤	25.7 ± 2.3	83.2	標準製剤	26.3 ± 2.1	82.8
	薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率 (%)	接触性皮膚炎抑制率 (%)												
薬剤無塗布群	152.7 ± 8.0	—												
試験製剤	25.7 ± 2.3	83.2												
標準製剤	26.3 ± 2.1	82.8												
安定性	3年(室温保存)													
包装	10mL × 10、 10mL × 50	10mL × 10												